


よつかいどう 市史編さんだより 第2号

えん福二年 旧井二郎成常
長岡地区の歴史

常清 九月九日 幸胤
共全日 開野仕候
業廣告 成永十一
取開始 佐倉田

編集・発行 〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡2001-10 四街道市役所第二庁舎一階
四街道市教育委員会教育部社会教育課市史編さん室 電話043-424-8934 平成30年10月発行

ホームページでさらに詳しい資料を紹介しています⇒
歴史資料等の調査も募集中です

よつかいどう市史編さんだより第2号 検索 

市史研究誌

『四街道の歴史 第12号』頒布中です

(平成30年3月刊行)



明治軍郷時代の写真掲載



- ①【古代】古代山梨郷の拠点集落
↳ 成山地区南作遺跡の検討から 栗田則久
- ②【近代】下志津と陸軍航空の黎明 森伸之
- ③【現代】定時制分校昼間課程に関する一考察
↳ 四街道分校を例として 海老沼宏始
- ④【近世】井岡家屏風裏張り文書
「佐倉藩の「御用状」を読み解く」
市史編さん協力員 大矢敏夫

- ◇定 価 五百円(税込)
- ◇頒布先 社会教育課市史編さん室
(四街道駅前 市役所第二庁舎1階)
本庁2階 情報公開室(12号のみ)
- ◇電 話 ○四三・四二四・八九三四

市史編さん資料 史料目録

『第一集 長岡地区 井岡家文書』

『第二集 諸家文書』のご紹介



※有償頒布しておりません。市史編さん室・市立図書館・公民館、国県立図書館・近隣市町図書館等で閲覧できます。

本市では「市史編さん基本方針」に基づき、史料目録『第一集 長岡地区 井岡家文書』、『第二集 諸家文書』を刊行いたしました。本書では代表的な歴史文書(近世古文書・近現代文書)の一部を口絵で紹介するとともに、概要・目録という形で掲載しています。

◇第一集 長岡地区 井岡家文書

江戸時代には長岡村名主を務め、嘉永二(一八四九)年の小金原御鹿狩においては、上総・下総・常陸・武蔵国の二〇〇〇に及ぶ村々の名主の中から一〇五人の世話役の一人に選抜され

た「治郎左衛門家」に伝わる慶長七（一六〇二）年の検地帳写から昭和時代まで五二七一点の歴史資料を収録しています。

◇第二集 諸家文書

市内・近隣地区における旧村役人、名士の家々に伝わる江戸時代初期から昭和時代まで四二一点の歴史文書を収録しています。

- ① 山梨地区 栗原竜一家文書
- ② 上野地区 栗飯原祐一家文書
- ③ 千葉市稲毛区長沼 島田家文書
- ④ 亀崎地区 林田重之家文書
- ⑤ 亀崎地区 小林健治家文書
- ⑥ 南波佐間地区 永野慶治家文書
- ⑦ 中台地区 篠崎孔久家文書・中台区有文書

歴史文書は、当時の社会を伝えてくれる貴重な歴史資料です。市史編さんを行う上で、この目録作成は基礎資料として大変重要なものであり、その村・区、周辺域等がどの時代にどういった歴史的経過があったのか一目瞭然にわかるものとなっています。今後、刊行予定の史料集、本編では扱いきれない資料を補うものとして、必要不可欠な研究用資料です。

このような貴重な機会を得ることができましたのは、ひとえに所蔵家の皆さまのご厚意によるものです。今回の目録刊行にあたり、整理された歴史文書を末永く大切に保存いただくこと、並びに市史編さんや市史研究への活用・普及に

ご理解とご協力を賜りますことを衷心よりお願い申し上げます。

そして、掲載された歴史文書の整理・目録刊行作業にご協力、ご尽力いただいた市史編さん協力員「史料調査部会」の皆さま方に心より感謝を申し上げます。

市史編さん主任 中村政弘

※今年度は史料目録『鹿渡地区 小川三郎右衛門家文書』の刊行を予定しています。

【さかのぼり 四街道の歴史 第二回】

「酪農」と「再軍備」 昭和二九（一九五四）年

この年には、

◇ 国外

平和五原則の共同声明（6月）
東南アジア条約機構創設（9月）

◇ 国内

造船疑獄（2月）
福竜丸ビキニの米水爆実験で被災（3月）
自衛隊発足（6月）

◇ 県内

県財政悪化、約11億円の赤字（8月）
印旛沼からの取水、川崎製鉄工業用水に関する覚書（10月）
米軍、木更津基地拡張計画の通告（12月）

昭和二九年三月五日の千葉新聞に、「穀倉印旛」の記事が出ています。酪農が印旛郡内（千代田町・八街町・富里村）で盛んになり、「将来は房州をしのぐ」と称賛されています。房州は酪農発祥の地でありました。八代將軍の徳川吉宗の享保年間（一七一六〜三六）には「牛酪」（ぎゅうらく、バター）が作られました。明治時代になると、東京の需要拡大に伴って発展していきました。

この記事に出てくる千代田町の開拓は、昭和二〇年に敗戦に伴って周辺の軍人・軍属や復員者・引揚者・満蒙開拓青少年義勇軍訓練生などによって始まりました。政府は、国内人口の増加に伴う食糧危機解消を図る上で、大規模な農地の開墾・干拓を目指しました。千葉県では、目標面積として一万一〇〇〇町歩が割り当てられ、郡別でも印旛郡に集中しました。その中でも、特色として旧軍用地解放の比重が高く、面積の五二%を占めています。旧軍用地の中では、陸軍歩兵第五七連隊（佐倉市）、陸軍下志津原演習場（四街道市など）、陸軍印旛飛行場（印西市）などがありました。

この地域の酪農の歴史を、『拓く』（鹿放ヶ丘開拓五〇年史、平成七年）、『下志津原大日開拓誌』（昭和五〇年）を見ていくと参考になります。

地域の酪農は開拓とともに始まりましたが、堆肥をつくる目的もありました。昭和二一年一

一月には、茨城県内原訓練所（現水戸市）から払下を受けた乳牛三頭が到着しましたが、飼料不足もあり、牛は骨と皮という状況になっています。この当時、人間も米ではなく、馬のエサのコーリヤンをすすっていた時代です。その後は、房州から牛を購入したりして、次第に頭数も増えていきました。しかし、昭和二七ごろには県下開拓農家が八〇〇戸も脱落するなど（「千葉新聞」一〇月三〇日）、天候不順のため不況になりました。

その後、千葉新聞には、「開拓地を一大酪農化」（昭和二八年三月一九日）、「県下各地で牛乳の集荷合戦」（昭和二八年六月七日）や、「下志津原に酪農王国」昭和二八年六月二〇日）も見られるようになりました。昭和二九年六月に酪農振興法が公布されて、『農業千葉』7月号では畜産特集が生まれ千葉県酪農業の見通しなどの記事も掲載されました。

県などのテコ入れなどにより、ようやく昭和二九年に下志津原酪農協同組合が発足しました。次第に乳価も安定し、現金収入も増えること、世間一般に酪農熱が高まりました。この地域では、昭和三三〜三四年ごろが酪農の最盛期となりました。

このころ、再軍備の記事も多く見られるようになります。特に旧陸軍下志津飛行学校跡地を巡って、九月から十一月にかけて記事が多くなります。一〇月二八日の記事は「復活？する軍郷千葉」で、県下各地の基地接收、基地拡張問

題が起き、県内一〇か所（米軍関係八、自衛隊二）の他に、新たな接收が課題に上った四か所のレポート（旧海軍茂原飛行場・旧海軍香取飛行場・旧陸軍下志津飛行学校・木更津飛行場）が紹介されています。旧下志津飛行学校跡地には、「農地は絶対手離さぬ」として四八戸の開拓農家が反対運動を続けていました。この記事には、中国上海からの引き揚げ家族の発言を掲載しています。

その後、昭和二九年八月に誕生した陸上自衛隊高射学校は、昭和三〇年六月に下志津駐屯地で起式を行い、一二月に移転してきました。演習場は、九十九里浜の米軍基地「豊海高射砲演習場」などでした（古山豊『豊海高射砲演習場』参照）。

「千葉新聞」は、敗戦直後の昭和二〇年一月に創刊されました。欠号が多く不鮮明なものもありますが、県立中央図書館や千葉県文書館などで閲覧できます。昭和三一年の労働争議により廃刊となり、「千葉日報」へ引き継がれました。

（文・市史編さん主任 中村政弘）



羊のポー君と元義勇軍訓練生開拓者の方（写真ご協力者）



上) 陸軍演習で荒れた荒野を鋤で開墾



下) 開拓に従事した元義勇軍訓練生の少年たち



酪農王国時代の下志津原（上下）

く四ツ街道のあの頃く

♪ 想い出のアルバム ♪

くあの時代の光景を教えてください

本市では、平成三三年度に迎える「市制施行四〇周年」を記念して『記念写真集』の刊行を予定しています。ぜひ皆さまがお持ちのお写真で想い出の写真集と一緒に作りませんか。

◇写真例（市内域・近隣に限ります）

対象年代は江戸後期～明治・大正・昭和時代

- ① 当時の人々・村・町の様子・生活・景観
- ② 陸軍施設・演習場・関連施設・軍隊など
- ③ 産業、学校、駅、社寺、祭礼、式典など
- ④ 高度経済成長期の建物・開発・製品など
- ⑤ 新興団地造成前後・建設前後など
（みのり町・さちが丘・つくし座・千代田・旭ヶ丘・みそら・鷹の台・めいわ・美しが丘・もねの里・各公園・商店街など）
- ⑥ 鉄道、車、ホビー、伝統、大衆文化など
- ⑦ 地図、航空写真、図面、チラシなど
- ⑧ 当時の流行・イベント・パンフレットなど
- ⑨ その他 色々

ご協力・ご連絡よろしくお願いたします。

※市史編さん担当がお伺いします

ご自宅に歴史資料が眠っていませんか

その資料を廃棄する前にご一報ください

く数百年後の後世へ伝える歴史編さんく

本市では、『近現代編 資料集』の刊行へ向け集中的に近現代資料調査を行っています。

ご自宅、自治会、企業、団体、各施設などに所有されている明治大正時代から昭和・高度経済成長期までの「歴史文書（公文書・区有文書・諸団本文書・関係文書・他）、写真、地図、歴史的物品、新聞、領収書、チラシ、パンフレット」などがございましたら是非ご連絡ください。

◇今後の刊行予定（仮題）

- ① 近現代編 資料集 3 戦後の陸軍演習地開拓
- ② 近現代編 資料集 2 軍隊のまち四街道
- ③ 近現代編 資料集 1 旭村・千代田村の誕生
- ④ 近現代編 資料集 4 町の成立と市制施行

昭和時代まで歴史となる時代になりました。

※市史編さん担当がお伺いします

村・社寺・家の興り解明へ

地域所縁の社寺や旧家の歴史調査

地域所縁の神社・寺院・旧家の棟札、ご神体、ご本尊、縁起、古文書、過去帳、仏画、ご位牌、家譜、

石造物（宝篋印塔・墓石等）などの学術的調査も行っております。お気軽にご相談ください。

① 各分野の専門調査員が伺い調査、調査報告書を作成いたします

② すず・油煙等で判読不能な物は赤外線カメラで読取調査いたします

③ 南北朝・室町・戦国時代から慶長年間（一六〇〇年前後）くらいまで辿り着くことができた縁起・位牌・墓石調査事例があります

④ 鎌倉・室町時代の石造物（宝篋印塔・五輪塔・板碑等）が処分されてしまうケースが相次いでおります。気になる古い石造物があった場合、是非ご一報ください

⑤ 屏風やふすまの裏張り、ここにはないだろうというところに、江戸時代古文書が発見された事例があります

⑥ 歴史的重要なものに関しては、文化財審議会にて審議後、指定文化財に指定いたします

⑦ 修復等もご相談ください

ご協力・ご連絡よろしくお願いたします。

※調査内容のプライバシーを配慮いたします

※市史編さん担当がお伺いします

市史編さんよりは、

市ホームページにも詳しく掲載しています。

◎お問合せ・ご連絡先は

社会教育課市史編さん室

電話〇四三・四二四・八九三四まで